



株式会社 かね松老舗

住所:京都府京都市中京区中魚屋町486 事業内容:青果小売業



▲代表取締役の上田さん

大きな戦力になると確信

現在、従業員は約10名。そのうち、知的障害者1名、精神障害者2名を雇用している「株式会社かね松老舗」。明治の創業時から松茸や洛西のタケノコ、そして当時はまだ珍しかったバナナなどを商う老舗の八百屋さんです。「坂本龍馬が暗殺された寺田屋さんにも野菜を届けてたんです」と代表取締役の上田欣司さん。軽妙な語り口に、老舗の看板を背負う商人らしさが漂います。

「かね松」で障害者雇用をはじめたのは6年前。それまでは「障害のある方は急に大きな声を出し

たり、行動が予測できないイメージがあって、正直、苦手でした……」と上田さん。それがなぜ、雇用することに？

「きっかけは、中学の同窓会。同級生が障害者就業・生活支援センターで働いていて、実習を受け入れてくれないかと頼まれて、深く考えずにOKしたんです」

早速やってきた実習生に、当初、仕事の成果は期待していませんでした。任せたのは、タケノコに添える米糠の袋詰め。何キロもある大袋から15グラムずつ小袋に入れる単調な作業です。しかし、実習生は手を抜きませんでした。陳列された袋を見た先代が「米糠のおかげでタケノコが輝いて見える。誰がやった仕事や?!」と大絶賛。その言葉を聞いて、上田さんは「丁寧に根気よくやり遂げる実習生の仕事が付加価値を生む。これは大きな戦力だ」と確信しました。これを機に、障害者雇用がはじまります。障害のある方に、ゴボウをささがきにする作業を任せ、百貨店で販売。すると固定客がつく人気商品に。「機械とちがい、手でささがきにしたキンピラゴボウは味が違います。お客さんが認めてくれたんです」

特別なことはしていません

現在働いておられる杉本さんは精神障害があります。雇用するにあたって、工夫したことなどをたずねてみました。

「こんなこと言ったら誤解されるかもしれませんが、ほんまになにも特別なことはしてません。特別扱いは一切ない。例えば、スタッフが、風邪気味かなと思ったら『ちょっと裏で休みや』って声をかけますよね。それと同じくらいのことしかしていませんよ。元気がなかったら『ちょっと休みや』と声をかける。むずかしいことは一切考えてません」

障害のあるスタッフを高く評価する上田さん。「杉本くんをはじめ、障害のあるスタッフの仕事への熱意はすごいです。ここまで仕事に熱心に向き合ってくれる人にはなかなか出会えません。彼らは、職場を『自分の城』と思ってくれます」。そう言って、棚に並ぶドレッシングのピンを指差しました。「『このピンの

ラベルの向きを揃えておいて』って、数年前に一度だけ頼んだんですが、それ以来、一度もラベルの向きが違ったことがありません。こういう几帳面さは、自分にはない。誰でも得手、不得手があるので、仕事をする上で、彼らの後方支援は絶大やなと思っています。自分がやりこぼしていった仕事をきちんとこなしてくれています」と誇らしげに語られました。

「なんでもできる」と信じて向き合う

とは言うものの、精神障害のある方特有の「気持ちのアップダウン」はないのでしょうか。「いっしょに働いていたら、アップダウンの傾向がわかってきます。例えば、売り上げが思うように伸びないときは、気分が沈むとか。見ていれば気分の落ち込みの原因がわかるので、ゆっくり休んでもらったり、一緒に落ち込んだりしながら乗り切っていますよ」

その上で、長く勤務を続けられているのは、本人の努力によるところも大きいと話します。「仕事を覚えるのも、毎日遅刻なく出社するのも、本人がよく頑張ってくれているから」

いまでは、商品発注のタイミングなど在庫管理も障害のあるスタッフに任せているそうです。「障害があるから、なんにもできないと思うか。それとも、障害があっても、挑戦すればできると思うか。その違いが、結果につながっていると思います」



働いている人
杉本さん

「かね松」には35歳のときに入社して、丸5年経ちます。それまでは作業所に5年間通っていました。

最近まで店の2階に食事処があったのですが、初めはランチタイムなどにお客さんが一度に入ってくると、テンパってしまうこともありました。「ひとりずつ通してくれたらいい」とスタッフに声をかけてもらったりして、慣れていきましたね。年配のスタッフの方が家族のように接してくれ、かわいがってくれています。

正直、接客は毎日怖いですが、それでも仕事が続けられるのは、多くのことに支えられているからだと思います。

食事処などを「きれいやな〜」とお客さんに誉められると、うれしかったですね。清掃は作業所でも厳しく教えられてきたので、その成果かなと思います。

「かね松」には、他にも障害のあるスタッフがいるのですが、その熱心な仕事ぶりに、「自分は気がたるんでるな」「ちゃんとしんとあかん」と刺激を受けながら働いています。

1日の仕事

6:00 出社 検品、伝票の計算→掃除→休憩→
ランチ案内、レジ→ 15:00 退勤（繁忙期閑散期で変動）